

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生涯学習部社会教育課	直通電話	72-3173	事業コード	402030102	課内	13	作成日	平成15年8月13日
	担当者		東 信也	担当課長			児玉 利英	担当部長	樋口 幸廣

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	青年団体連絡協議会補助金	開始年度	S44	終了年度	未定										
		最近の事業内容見直し年度													
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>4020301</td> <td>社会教育の推進 / 団体・グループの育成</td> </tr> <tr> <td>4010401</td> <td>生涯学習の推進 / 学習機会の整備・充実</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	4020301	社会教育の推進 / 団体・グループの育成	4010401	生涯学習の推進 / 学習機会の整備・充実				
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目														
4020301	社会教育の推進 / 団体・グループの育成														
4010401	生涯学習の推進 / 学習機会の整備・充実														
3) 個別計画での位置付け															

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	青年団体活動を通じて地域の活性化を図るとともに、郷土芸能を継承・普及しながらまちづくりやふるさと意識を高める。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	協議会が実施する事業や上部団体の主催する事業への参加増など、青年団体活動が活発になること。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	市内2団体(瑞穂サークル(9人)、高岡青年会(14人))が加盟する市青年団体連絡協議会の運営費や事業費の一部を補助する。 ・新入会員歓迎会事業 ・ヤングウェーブ(地域やOBとの交流会)事業 ・意見発表会 ・石狩太鼓
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	本協議会は昭和44年に改組したものであり、主に農業後継者である青年が主な会員であった。市街化が進むにつれ農業人口数の減少とともに会員数が減少し、現在に至る。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	特になし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

## 3 事業に投入した行政資源

項 目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	400	230	200	/	青年団体連絡協議会補助金	200
2) その他の間接経費(千円)						
3) 従事正職員の人件費(千円)	1,069	1,078	1,071			
総事業費(1~3の合計;千円)	1,469	1,308	1,271			
総事業費中の一般財源(千円)	1,469	1,308	1,271			
市民一人当たり一般財源使用額(円)	27	24	23			
事務に従事した正職員のべ人数	0.13人	0.13人	0.13人			
					H14主な特定財源の内訳	金額(千円)

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
新入会員歓迎会開催回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	/	数値は、新入会員歓迎会開催実績。目標は、実績をもとに設定。
	実績値	1	1	1		
	達成率					
ヤングウェーブ開催回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	/	数値は、ヤングウェーブ開催実績。目標は、実績をもとに設定。
	実績値	2	1	1		
	達成率					
意見発表会開催回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	/	数値は、意見発表会開催実績。目標は、実績をもとに設定。
	実績値	1	1	1		
	達成率					

## 5 事業の成果

事業名：青年団体連絡協議会補助金

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
協議会への加入人数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	30	協議会に加盟する2団体への加入者数。目標は、実績を踏まえた期待値。	定期総会
	実績値	26	23	23	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
派遣事業への参加述べ人数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	55	協議会が実施する新入会員歓迎会や意見発表会への参加人数。目標は、実績をもとに設定。	定期総会
	実績値	53	41	36	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
派遣事業への参加延べ人数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	140	全国や全道などの上部組織が主催する事業への参加人数。目標は、実績をもとに設定。	定期総会
	実績値	132	112	139	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	青年団体活動は、まちづくりや地域の活性化に欠かせないものであるが、加入者が少ないため参加人員が少ない。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	加入者数は、加入者が主として農業後継者のため、農業人口が減少するとともに減少している。このため、一部の地域青年の活動になっている。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	まちづくりや地域の活性化を図るためには、青年団体活動は欠かせないものであり団体の活動支援は必要である。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	活動の一つである郷土芸能の継承・普及については、市民にも理解されており、まちづくりやふるさと意識の高揚が図られた。しかし、市民には青年団体が中心となった活動であるとの認識が低い。				

## 7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	D	[最終評価]	D (前年度)
	加入者は減少しているものの、活動の一つとして郷土芸能の継承・普及に努めている。		[部長評価] 課長評価を了承する。 [市長評価] 部長評価を了承する。	

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	青年団体活動は、まちづくりや地域の活性化に大きな役割を果たすもので、加入者が減少傾向にあるが支援に努める。
最終評価	[担当部長] 本事業について抜本的に検討を要する。 [市長評価] 部長評価を了承する。

## 9 平成16年度の方向性

* 担当課長 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合 休・廃止		
上についての説明	[市長評価] 部長評価を了承する。		

**(付表)**  
**補助・負担金等事業内容整理表**

担当部課： 生涯学習部社会教育課

事業名： 青年団体連絡協議会補助金

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	石狩市青年団体連絡協議会補助事業
支出相手方(名称、代表者、構成員)	石狩市青年団体連絡協議会(会員数:21名) 会長 伊藤 強 (構成団体:瑞穂サークル(8名)、高岡青年会(13名))
活動(事業)目的	加盟団体の連絡と親睦を図り、その自主性を高め、活動を通じて郷土の発展に寄与することを目的とする。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

	H12決算		H13決算		H14決算		H15予算		
	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	
歳出決算 (予算)状況	運営費	152	152	161	161	135	135	110	110
	派遣事業費	84	84	30	30	75	75	64	64
	事業費	504	504	205	205	126	126	230	230
	繰越金	3		2		3			
	歳出合計	743	740	398	396	339	336	404	404
歳入決算 (予算)状況	石狩市青年団体連絡協議会補助事業	400	53.8%	230	57.8%	200	59.0%	180	44.6%
	会費	91	市の補助 負担金 への依存 度	88	市の補助 負担金への 依存度	81	市の補助 負担金への 依存度	70	市の補助 負担金への 依存度
	事業収入金	230		57		36		150	
	雑収入	20		20		20		1	
	繰越金	2		3		2		3	
	歳入合計	743	398	339	404				
補助・負担 対象経費 の内容	運営費・派遣事業費及び事業費								
補助・負担 金額の算 定方法	定額補助								

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
主催事業への参加者のべ人数(人)(再掲)	53	41	36	55
派遣事業への参加者のべ人数(人)(再掲)	132	112	139	140
平成14年度 活動(事業)実績	・主催事業 新入会員歓迎会、ヤングウェーブ、意見発表会など ・派遣事業 石狩管内青年体育大会、北海道青年祭り、第51回全道青年大会、はちやめちゃ倶楽部など			

4 特記事項

--